

## 第 5 回上天草市環境審議会議事概要

日 時：平成 23 年 2 月 22 日（火）13 時 30 分 ～ 15 時 00 分

場 所：上天草市役所大矢野庁舎 2 階庁議室

### ■ 審議会委員

No.	所 属 等	氏名（敬 称 略）
1	熊本大学 沿岸域環境科学教育研究センター	逸 見 泰 久（会長）
2	崇城大学 工学部エコデザイン学科	田 代 敬 大
3	まちづくり事業推進運営委員会	堀 江 隆 臣（欠席・代理）
4	上天草市区長連合会	西 嶋 信 二
5	特定非営利活動法人 シートラスト	嶋 田 昭 仁
6	熊本県地球温暖化防止活動推進員	松 本 俊 介
7	熊本県漁業協同組合連合会	松 本 忠 明
8	あまくさ農業協同組合	藤 川 春 生
9	大矢野町商工会	宮 本 稔（副会長）
10	あまくさ四郎観光協会	竹 田 勉

1	上天草市長	川 端 祐 樹
2	市民生活部長	佐 伯 秀 昭
3	市民生活部 環境衛生課長	藤 島 幸 治
4	市民生活部 環境衛生課 衛生係	赤 瀬 耕 作
5	市民生活部 環境衛生課 環境係	友 添 真 也
6	市民生活部 環境衛生課 環境係	西 聖 志

### ■ 次第

第 5 回環境審議会	配布資料
1 開会 2 議事 （1）環境基本計画（案）の承認及び答申（案）の最終確認について （2）環境基本計画概要版（案）について （3）平成 23 年度の環境審議会について （4）その他（質疑・意見交換等） 3 答申 4 市長との意見交換 5 閉会	1 環境基本計画（案）修正箇所一覧（資料 1） 2 上天草市環境基本計画について（答申）（資料 2） 3 平成 23 年度の環境審議会について（資料 3）

■議事要旨 (◎：議長(会長)、○：委員、●：事務局)

## 1 開会

◎議長

皆さん、こんにちは。

それでは、次第にしたがいまして、ただ今から、第5回上天草市の環境審議会を開催いたします。

今回も事務局が録音のうえ審議会の議事概要を作成します。

本日は、議事を1時間程度を目安に進めまして、その後、答申、市長との意見交換となっています。時間配分をしながら進めたいと思いますのでよろしくお願いします。

まず、「環境基本計画(案)の承認及び答申(案)の最終確認について」事務局より説明をお願いします。

## 2 議事

### (1) 環境基本計画(案)の承認及び答申(案)の最終確認について

●事務局

～資料1 環境基本計画(案)修正箇所一覧

資料2 上天草市環境基本計画について(答申)(案)についての説明～

◎議長

それでは、上天草市環境基本計画(案)と答申(案)については、皆さんの最終的な承認が必要となりますが、何かありますでしょうか。基本的には前回から特別大きな変更点はなく、内容的に十分かと思われそうですが、いかがでしょうか。

何もなければ、承認するというところでよろしいでしょうか。

※承認

### (2) 環境基本計画概要版(案)について

●事務局

～環境基本計画概要版(案)についての説明～

◎議長

それでは、概要版について質疑・御意見がありましたらお願いします。

まず、概要版についてはどういった形で配布する予定でしょうか。

●事務局

基本的には計画書と一緒に配布します。他にも市ホームページへの掲載、環境出前講座等での配布、環境衛生課及び各支所等の窓口への設置を考えています。

◎議長

少し文字が詰まりすぎていて、絵や写真もないので読みづらく、計画書と比べると概要版の方が硬い感じがします。

●事務局

市民の方が活動している風景などの写真等をスペースを見つけて掲載したいと考えています。

○西嶋委員

概要版だけでも、区長便などを通じて各地区(班)に回覧することは計画されていますか。

●事務局

現在のところは、印刷費の関係などから回覧する予定にはしていません。印刷業者との打合せで、安価であるということで概要版を見開きの6頁で構成することにしていますが、作成できる部数に限りがあり、班の数が全体で1,100程度あることから、班回覧をすることは難しいのではないかと考えています。

○西嶋委員

班が難しいのであれば、区長だけにでも配布をお願いできないでしょうか。

●事務局

検討させていただきたいと思います。

◎議長

6頁で決めるのであれば、写真等を入れるスペースがあまりないので、後はホームページで対応するしかないのではないかと思います。

環境基本計画（案）については、ホームページに掲載する予定ですか。著作権などの問題も出てくるかと思いますが。

●事務局

計画（案）についてもホームページ掲載する予定です。

◎議長

特別、大きく個人の写真が写っていなければ肖像権の問題もないと思いますが、問題とならないようにチェックしていただいて、できるだけホームページに掲載できるようにお願いします。

それでは他に御意見がなければ、概要版について承認いただいたということで、次の「平成23年度の環境審議会について」に移ります。

### （3）平成23年度の環境審議会について

●事務局

～資料3 平成23年度の環境審議会についての説明～

◎議長

それでは、平成23年度の環境審議会に関しまして、何か御意見、質問があればお願いします。

まず、市では環境関連の委員会はこの審議会だけですか。県だと環境審議会以外にも、希少動植物委員会などいろいろあるかと思いますが。

●事務局

特にはありません。県の環境審議会は、審議会の中に部会や委員会等があるかと思いますが、市ではそこまでは設けておりません。

◎議長

環境関連に関しては、この審議会が全てみていいと考えていいのでしょうか。

●事務局

事業などによっては、個別に委員会等を設けるものなどがあります。

◎議長

次の審議会の開催が7月以降で、しばらくごさいませんので他に何か御意見はありませんか。それでは、次の「その他（質疑・意見交換等）」に移ります。

#### (4) 質疑・意見交換等

##### ◎議長

それでは、フリーディスカッションでお願いします。環境基本計画に関係すること、または関係しないことでも問題になる点があるかと思いますが、何か御意見はありませんか。

##### ●事務局

嶋田委員、本日御持参いただいた物を紹介していただけますか。

##### ○嶋田委員

これは我々の団体（NPO法人シートラスト）の水の浄化活動の一環で、地元で生息しています神馬草（じんばそう＝アカモク）を使って作ったカステラです。是非試食してみてください。アカモクを一度干し上げて 70～80%乾燥させてから粉末にしたものを練り込んで作っており、販売しています。

また、今年の2月から、地元の製麺所と共同で開発した「神馬草うどん」の販売も「さんぱーる」（物産館）で行っています。

##### ○宮本委員

要望ですが、事業系のごみをステーションに出している所があるとのことで、これを何とか指導していただけないかと区長さんから指摘がっております。商工会でも、飲食店などの会員に機会がある時には指導等行っているところですが、市としても広報等による周知をお願いしたいと思います。

##### ◎議長

特別に条例などによる規制はないのですか。

##### ●事務局

市のごみの収集については、家庭系のごみだけを実施しており、事業系のごみに関しては事業者自らが処理するようになっていきます。先週から2～3件そういった事例が発生しております。その対応については現在検討しているところです。もちろん、広報や回覧等での周知は図っていきたいと考えています。

また、指導等行ううえでは、まず、ごみの排出者の特定が難しい状況です。

##### ◎議長

ごみを収集される業者はどのようにされているのですか。

##### ●事務局

市で収集した家庭ごみについては、松島清掃センターに持ち込んで処理しています。分別されたごみは資源に回され、一部が埋立ごみとなっており、埋立ごみについては、まず破碎し、分類をして一部は資源、他は最終埋立されています。

現状では、分別されている約80～90%は資源化されています。

##### ◎議長

事業所における処理についても同様でしょうか。

##### ●事務局

事業者分については、洗浄の問題などの条件の点で家庭系といろいろ異なっておりますので、どうしてもリサイクル率は悪くなっている状況です。

##### ○宮本委員

ごみ処理には費用がかかりますので、生ごみ、紙類の分別を徹底して少しでも減量できるように、また、せっかく環境基本計画を策定しましたので、今後とも減量化と分別を進める方向でお願いしたいと思います。

##### ●事務局

来年度、一般廃棄物の処理に関する長期計画を策定する予定でおりますので、施設の状況なども踏まえながら、ごみ処理のあり方自体を考えていく必要があると思います。

また、周知に関しましては、現在ごみの出し方のパンフレットなどを作成中です。

○西嶋委員

現在、熊本市のプラスチックの回収に関して注目してしまして、上天草市の状況や分別収集されたものがどのように処理をされているのかなどを広報等でもっとお知らせいただきたいと思います。

●事務局

現在のごみの割合は、重量で生ごみが約 30%、その他 70%が紙類やプラスチックとなっています。このプラスチックなどをどれだけ減らせるか、生ごみについては堆肥化の検討をする必要性がありますが、プラスチックについては分別の推進が一番メインとなりますので、周知徹底をどのように図っていくのかを今後とも引き続き考えていきたいと思っています。

○西嶋委員

まだ、分別の意識が低いように思われます。特にプラスチックの分別が不十分で、ほとんどが焼却されているのが現状ではないでしょうか。特に高齢者世帯の意識が低いように思います。

●事務局

区長会との打合せや出前講座等で各地区を回って市民の皆様に説明を行い、分別の徹底等図っていききたいと考えています。

○松本（俊）委員

分別して木材をペレットなどにするごみの燃料化に対する動きはないのでしょうか。

●事務局

発電所などと提携して阿蘇や大牟田などでは、ごみをペレットにして発電所のエネルギーとして使っているようです。

○松本（俊）委員

市として、何か進んだ取り組みなどをこれから実現していこうという話はないですか。

●事務局

ごみの減量化を考え、ペレットにしたとしても、利用先のことや利用形態の問題もありますので、調査等は実施しておりますが、現状として難しいのではないかと考えています。

○田代委員

経済学的にみますと、ごみを減量化するためには、理論的には、有料化が一番いいと考えます。ただ、不法投棄の問題が発生しますので、上天草市だけではなく地域一斉での実施が条件になろうかと思っています。

●事務局

今後、7月以降の審議会でごみ問題を検討していきたいと思っています。

○田代委員

学生の卒業研究で、「上天草市の環境経済モデルの基礎的研究」をさせていただいております。まだ実態をお尋ねしながら作ったものではございませんが、それが上天草市の環境だけではなく、まちづくりにおける基礎資料として少しでもお役に立つことができればと願っています。今後とも色々ご指導いただきながら研究を進めていけたらと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

その卒業研究の結果を申しますと、新幹線開通による天草地域への観光客数の増加により、経済指標は非常に好転いたしますが、ごみの問題などによる環境負荷が大きくなり、一見すると経済と環境は両立しないように見えます。しかしながら、例えば、同時にごみの減量などの対策を実施していくのであれば、経済と環境は実は両立するという可能性を示すことができるのではないかと考えています。

観光については広い意味で考えた方が良く、1年だけのブームでは効果はあまりありま

せんで、ある程度継続的に多くの方々に来ていただくために上天草市自体が環境に配慮したまちづくりを行うことが重要と思います。これを観光的に直結させ、また、観光産業だけでなくともいろんなところに波及していきますので、上天草市にとって「環境を基本にしたまちづくり」を目指されることが今後の基本方向の一つではなかろうかと思っています。

○竹田委員

観光面からみますと、ごみの問題など、一概に観光客の増加に対してはあまり良くない意見もあるようで難しい問題であります。

### 3 答申

#### (1) 市長への答申

◎会長

上天草市環境基本計画について答申いたします。

平成22年7月9日付け上天環第296号で市長から諮問のありました上天草市環境基本計画について、当審議会における審議の結果、別添案につき、市の環境施策の基本計画として妥当なものであると認めます。なお、環境基本計画の推進に当たっては、次の点に配慮されるよう要望します。1、環境基本計画に掲げた施策及び目標の計画的かつ効果的な実施に努めること。2、今後の環境問題の進展や新たに生じる環境問題等への対応についても、柔軟かつ速やかに実施すること。3、市民一人ひとりの環境に対する意識の高揚や環境保全活動の促進を図るため、様々な機会をとらえて環境基本計画の周知、活用に積極的に取り組むとともに、市民、事業者及び市が協働により、本市における環境の保全及び創造に関する施策の推進に努めること。以上でございます。

#### (2) 市長あいさつ

皆様、改めましてこんにちは。

本日は環境審議会委員の皆様には、大変お忙しい中にも関わりませず、審議会を開催していただきまして、また、ただ今昨年の7月からお願いいたしておりました「上天草市環境基本計画について」の答申をいただきました。これまで5回に渡って熱心に審議していただき、特に逸見会長におかれましては、会の進行、取りまとめ等でご尽力いただき、皆様におかれましても心からお礼を申し上げたいと思います。

さて、環境については、地球温暖化、また、当市においても環境政策をどうするかという点で非常に頭を悩ませていたところでもありますけれども、条例に基づくこの環境基本計画が策定されたことによりまして、一定の方向性が示され、かつ、我々が抱えるべき課題、また、解決方法等が見えてきたのではないかと感じているところでもあります。今後、上天草市といたしましては、この基本計画に則って各種の政策の展開、また、実行段階に入っていきたいと思っております。特に、本市は自然と共生するということが大事な地域でありまして、農業、漁業、観光業のこれら全てが自然に根ざした、自然の恩恵を受けている分野でありまして、我々の生活そのものがやはり、恩恵、また自然を大切にしていこうという観点に立ち返らなければいけないと思っています。今回の基本計画に基づきまして「新たな歩み」が歩めるでしょうし、我々としたしましても非常に大きな一歩を踏み出したのではないかと実感しております。

委員の皆様には、本当に重ね重ねになりますけれども、大変お忙しい中にも関わりませず、御尽力いただきましたことを市を挙げて心からお礼申し上げます、非常に簡単ではありますが、お礼の挨拶に代えさせていただきます。大変お世話になりました。

## 4 市長との意見交換

### ●事務局

それでは、市長を交えたところで、まず、当審議会の専門委員として御参加いただきました逸見会長、田代委員に今後の上天草市の環境について御提言をお願いします。

### ◎議長

市長も言われましたように、上天草市は、農業、漁業、観光など自然を基盤として成り立っていますので、逆に農業、漁業、観光で自然が汚ればマイナスになることが明確であります。観光客がごみを捨てるだけではなく、実際に農業、漁業をやることによって山や海が汚れるのは間違いのないことであって、こういった問題に対して情報等の広報を行っていただき、上手に解決していけないだろうかと思っています。

### <市長>

先日、新幹線関係で有志を募ってごみの清掃を実施しました。2百数十名に集まっていたいて、国道沿線を清掃しましたが、ものすごいごみの量にびっくりいたしました。ポイ捨て、投げ捨てどころか粗大ごみまで捨てられていましたので、まだまだ根深い問題であると痛感したところです。

### ●事務局

最終的なごみの量は、400kgでした。

### ○宮本委員

定期的に清掃を実施していけば、ごみの量も減っていきますし、通行された方や周りの方などがそういった活動を目にすることで、ごみの投げ捨てなどを止める可能性も出てくるかと思えます。

### ◎議長

ごみがあるからそこにごみを捨てるのであって、特に道路では、ごみがなければ皆さんはごみを捨てないと思えます。ごみが流れてくる海の場合は少し違いますが。

### ○田代委員

私は理論の方しかやっておりませんでしたので、現実的な問題に対して教えていただく機会をいただきましてありがとうございます。環境基本計画も逸見会長の御指導のもと委員の先生方の熱心なご議論と意欲的な事務局により、数値目標まで掲載できるようになり、勉強させていただくことができました。

私が思いましたのは、上天草市は、環境と経済に対して非常にポテンシャル（潜在力）が高い地域ではなかろうかということです。データのモデルを作らせていただいて計算をしてみても、実感することができます。ただ提言をさせていただきますと、少しポテンシャルに留まっている感じがしており、これは、第1次産業から始まり、第2次産業、第3次産業とありますが、「環境を基本に置いたまちづくり」を行うことによって、実はもっと環境的にも経済的にも展開の可能性が高まってくるのではないかと感じています。

今後、現在行っています「上天草市の環境経済モデル」づくりに実態を反映させ、少しでもまちづくりのお役に立つことができるように勉強させていただきたいと思えます。

### ○竹田委員

今月の「山と溪谷」の月刊誌に市長の働きかけで取材に来ていただき、上天草の山々が掲載されていて、観海アルプスの非常にきれいな景色が紹介されています。こういう景色を見れば、ごみも減るのではないかと思います。観光協会においても旅館組合に働きかけてこの月刊誌を置いてもらえるようにしています。

### <市長>

天草は海のイメージとされていますが、実は山もあり、山頂からの眼下の海岸線の眺め

など、非常にきれいで素晴らしいものがあります。

○竹田委員

来月は「旅の手帳」に上天草市を取り上げていただきますので、また、きれいな風景を紹介していただけるのではないかと思います。

○松本（忠）委員

市にこのような環境基本計画を策定していただき、市長から諮問いただいたその審議に委員として参加させていただいたことに感謝しております。天草五橋の開通後、海の環境が大きく変わり、確かに環境負荷が大きくなったように思います。今後、来訪者を受け入れる体制をつくり、そして共存しながら、天草の環境をいかに大切にしていくか、漁業者としても模範となるようしっかりとやっていきたいと思ひます。

○嶋田委員

せっかくこういった組織ができて、観光協会の竹田委員も参加されていますので、環境と観光を織り交ぜた形で新しい戦略ができればと思ひます。農水産物という「安心、安全な環境に取り組んでいる地域の品物」ということをさらにブラッシュアップされていければと思ひます。また、環境のモデルとなる所があるのであれば、大いにまねてローコストでできるものがあれば是非取り組んでいければと思ひています。

## 5 閉会